

IV 事業概要

3 社会教育事業

【1 生涯学習に関すること】

(1) 大人の科学教室

中学生以上を対象とした科学講座を10月～3月にわたり月に1度、主に日曜日に開催した。講師は科学館職員が担当し、専門分野を中心に独自の工夫を加えて行った。実験・観察を中心とし、分かりやすく親しみやすい内容とした。

平成29年度は開催期間中に1講座追加し、計7講座開催した。



第一回 10月29日(日) 10:00-12:00

「宝石を科学する」

講師 板橋 誠二 社会教育指導員

参加者 8名

誕生石をはじめとする鉱物の結晶について基礎的知識を説明。その後、偏光板による鉱物の見え方の違いや鉱物の硬さ、色などについて鉱物学的に調べた。



第二回 11月19日(日) 10:00-12:00

「木の不思議」

講師 石川 歩 社会教育指導員

参加者 2名

木材の特性を説明。双眼実体顕微鏡を用いて木材の組織を観察した。また、水が吸い上げられるように上がっていく様子(毛細管現象)の観察や曲げ木も行った。



第三回 12月16日(土) 10:00-12:00

「紙飛行機教室」

講師 日下 孝 社会教育指導員

「仙台紙飛行機を飛ばす会」のみなさん

参加者 14名

主翼にキャンバー(曲げ)を付けると揚力が発生することや主翼、垂直尾翼、水平尾翼の役割を説明。組立・調整後、ゴムカタパルトを使って広場で飛ばした。



第四回 1月28日(日) 10:00-12:00
「電子工作を楽しもう!!トランジスタ式
タイマの製作」

講師 佐藤忠義 専門員

参加者 16名

電子回路と電気回路の違いや基礎用語や各 부품の役割を説明。その後、各 부품のはんだ付けを進め、タイマを製作した。



第五回 2月25日(日) 10:00-12:00
「家庭で役立つ科学」

講師 吉田香苗 社会教育指導員

参加者 14名

文房具に着目した実験や柔軟剤のはたらきを調べる実験を行い、最後に料理について、ホウレンソウの気孔の様子を顕微鏡で観察した。



第六回 3月18日(日) 10:00-12:00
「凧を作ってあげる」

講師 梶原克夫 社会教育指導員

参加者 6名

凧の揚がる仕組みを説明。歩く程度でも揚げることができる室内凧と仙台を中心に古くから伝わる凧「するめてんばた」を製作し、最後には屋外で凧揚げを行った。

追加 第1回 2月18日(日) 10:00-11:30, 13:00-14:30 「大人の科学館学習」

中学生対象に行っている科学館学習を一般向けに行った。参加者は生物1名、物理3名、化学2名。